

## 小型の表示プレートを配布し、協定地区の周知を図る

### 神戸市建築協定地区連絡協議会\*

神戸市建築協定地区連絡協議会では、広報啓発事業の一環として、取り外しが容易な小型の建築協定地区表示プレートを作成したところ、多数地区から配布希望があり、地区内での建築協定制度の周知に効果を挙げている。



\* 神戸市内の建築協定運営委員会 129 地区が加盟 (H21.2 現在)

## 1 取り組みの内容

### 取り組みのきっかけ

神戸市建築協定地区連絡協議会では、従来より支柱付きの協定周知看板(90cm×60cm)を設置してきたが、設置場所の了承確認などの問題から候補地の選定が難しく希望地区は少ない状況であった。

このような中、平成18年に、設置希望はあってもやはり場所選定に苦慮していた西区ベルーデュ・神戸学園都市地区より、「同じ経費で、より小型の設置が容易な看板を設置していただくことはできないか」との提案があった。

### 協議会での検討、プレート配布事業の実施

提案は協議会役員会に諮られ、各地区共通の課題である地区内外への建築協定制度の周知方法として期待できるとの見解のもと、小型看板の作成に入った。

デザインは、宅地内に設置しても馴染むよう、カラフルで親しみやすい丸型プレートとし(直径20cm)、また状況によって自由に設置場所を移動できるよう、チェーン吊り下げ式とした。

平成19年に、この新しい建築協定プレート配布の希望を募ったところ、多数の地区(全地区数の半数)から複数枚数の希望があり、表示看板類の広報ツールとしての潜在的な需要が確認された。

### 地区の取り付け状況

協議会から配布されたプレートの設置は、地区に委ねられたため、取り付け方は地区により様々な工夫がされている。

プレート作成のきっかけとなったベルーデュ・神戸学園都市地区では、地区内のブロックごとに建築協定役員が存在し、各役員宅の門扉や玄関先の植栽



従来の支柱付き周知看板



役員宅門扉のプレート

にプレートが取り付けられている。

取り外しができるので、輪番制の役員交代に際しても容易に移動ができ、より身近なブロック単位での周知活動に役立っている。

## 2 今後に向けて

### 更なる発意への対応

協議会は平成20年に、同様のデザインで角型のプレートも作成した(45cm×30cm)。これは前年の配布の結果、ごみ集積所などの公共的な場所にはもう少し大きめのプレートがあっても良いとの意見を受けたものである。これについても多くの希望があり、結果、2か年で丸型プレートと併せ約70地区に400枚が配布された。

協議会では今後もこのプレート配布事業に限らず、地区のニー

ズを的確に把握し、円滑な建築協定運営に寄与する事業の展開を予定している。

